

スノーリゾートシティ SAPPORO

推進戦略

2021~2030

Powder in the City



©サッポロテイネ



札幌藻岩山スキー場



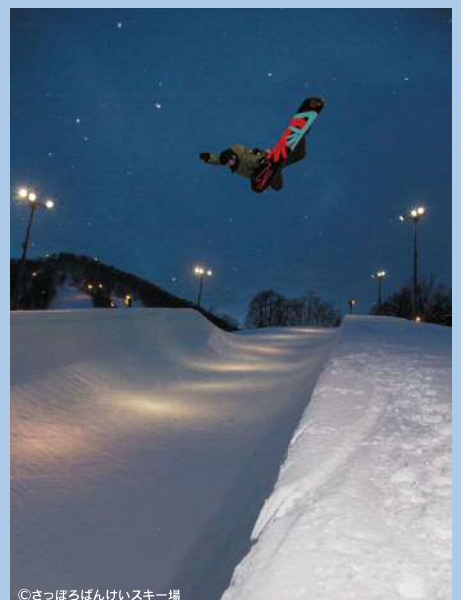
©滝野スノーワールド



札幌国際スキー場



フッズスノーエリア



©さっぽろばんげいスキー場

1 目次

第1章 スノーリゾートシティSAPPORO推進戦略の策定に当たって	1
1. 策定の背景	1
2. 推進戦略の目的	1
3. 推進戦略の位置付け	2
4. 全体構成	3
5. 計画期間	3
第2章 スノーリゾートを取り巻く状況	4
1. スキー市場の動向	4
(1) 海外スキー市場	4
(2) 国内スキー市場	4
(3) インバウンドスキー客の成長見込み	6
2. スノーリゾート推進の動向	7
(1) 観光庁のスノーリゾート施策	7
(2) 国内外のスノーリゾート地域の取組	9
3. 道内スノーリゾート地域の現状	11
(1) 冬期の道内観光客の状況	11
(2) 交通機関の状況	12
(3) 道内スノーリゾート地域のインバウンドの状況	13
第3章 スノーリゾート推進に向けた札幌の現状	15
1. 冬期における札幌観光の現状分析	15
(1) 観光客入込数	15
(2) 観光コンテンツ	19
(3) 観光インフラ	23
(4) 観光客の移動手段	25
2. 市内スキー場の現状分析	26
(1) 市内スキー場の基礎情報	26
(2) 営業日数の推移	28
(3) 利用者の状況	28
(4) 施設の状況	30
(5) 市内スキー場のプロモーション及び認知度	30

3. 冬期観光客の現状分析	32
(1) 来札目的	32
(2) 行動特性	33
(3) スキー属性・ニーズ	35
第4章 スノーリゾート推進の方向性	37
1. 目指す将来像	37
(1) 基本的な考え方	37
(2) 将来ビジョン	38
(3) 広域連携ビジョン	41
2. 誘客の方向性	42
(1) 市場分析	42
(2) 誘客ターゲット	43
(3) 誘客戦略	44
3. 市内スキー場の将来像	45
(1) 市内スキー場の特徴	45
(2) 市内スキー場に期待される役割・将来像	46
第5章 具体的な取組	47
1. 取組の全体像	47
2. 基本方針と具体的な取組	49
(1) 基本方針 1 観光客の多様なニーズに対応できるスキー場へのレベルアップ	49
(2) 基本方針 2 雪の街札幌ならではの観光コンテンツの充実	53
(3) 基本方針 3 ブランド力向上や周遊促進に向けた事業者連携の推進	56
(4) 基本方針 4 来訪者の満足度を高めるストレスフリーなサービス・インフラの提供	59
(5) 基本方針 5 スノーリゾートとしてのブランド化を目指したマーケティングの強化	62
(6) 基本方針 6 道内スノーリゾートとの広域連携の促進	65
第6章 推進体制と進行管理	68
1. 推進体制	68
(1) 実施主体と役割分担	68
(2) 目指す推進体制	69

2. 進行管理.....	70
(1)取組の進め方と進捗状況の管理	70
(2)戦略推進のロードマップ.....	70
3. 成果指標.....	71
【資料】 スノーリゾートシティSAPPORO推進戦略の検討経過.....	72
1. スノーリゾートシティSAPPORO推進戦略検討委員会の概要	72
2. 検討委員会の委員.....	73
3. 市民意見募集(パブリックコメント)実施結果	74

第1章 スノーリゾートシティSAPPORO推進戦略の策定に当たって

1. 策定の背景

札幌は、国内外から年間 1,500 万人以上の観光客が訪れる「国際観光都市」ですが、観光客入込数の繁忙期(7月～9月)と閑散期(11月～2月)の差が大きく、閑散期である冬期の集客力向上が課題となっています。

一方、訪日外国人観光客(以下「インバウンド」という。)は、12月～2月の冬期に多く来札する傾向があり、観光消費単価も高いことから、閑散期を補う誘客ターゲットとして期待されています。

また、ニセコに代表される北海道のスノーリゾート¹ が世界的なブランド力を誇っていることや、令和4年(2022年)に冬季オリンピック・パラリンピックが開催される中国でスキー人気が高まっていることなどにより、スキーやスノーボードを目的として多くのインバウンドが北海道を訪れています。

昭和47年(1972年)に冬季オリンピックが開催された札幌は、市内に6つのスキー場が存在するなどウィンタースポーツが盛んな都市であるとともに、市内各所でスノーアクティビティや雪遊び等の雪体験が楽しめるなど、スノーリゾートとしてのポテンシャルを有する街であると考えられます。

そこで、札幌市では、スノーリゾートとしてのブランド化を推進し、インバウンドを始めとした観光客の増加や滞在期間の長期化により冬期の観光消費拡大を図ることを目指し、「スノーリゾートシティ SAPPORO 推進戦略」(以下「推進戦略」という。)を策定することとしました。

なお、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナウイルス」という。)の影響により、令和2年度(2020年度)の観光客入込数は大幅に減少しており、特にインバウンドはほぼゼロになると見込まれています。今後は、感染拡大の収束状況を見極めながら、コロナウイルスにより大きな影響を受けた札幌観光の回復に向けた取組が求められており、推進戦略の策定に当たっても、この点を踏まえて検討しています。

2. 推進戦略の目的

推進戦略では、スノーリゾート推進に関する現状や課題を明らかにしたうえで、札幌が目指す将来ビジョンや誘客戦略、今後実施すべき具体的な取組、推進体制等を整理し、スノーリゾートとしてのブランド化に向けて、市内スキー場、関連事業者、関係団体、行政などが一体となって取り組むための指針を定めます。

¹ 【スノーリゾート】人々が休暇や余暇を過ごすために訪れる、冬季の雪を魅力とした場所及びそこでの活動。スキー場でスキーやスノーボード等を楽しむだけでなく、雪遊びや雪道の散策、スキー場周辺の街中での食事やショッピングなど、多様な活動を含めた概念

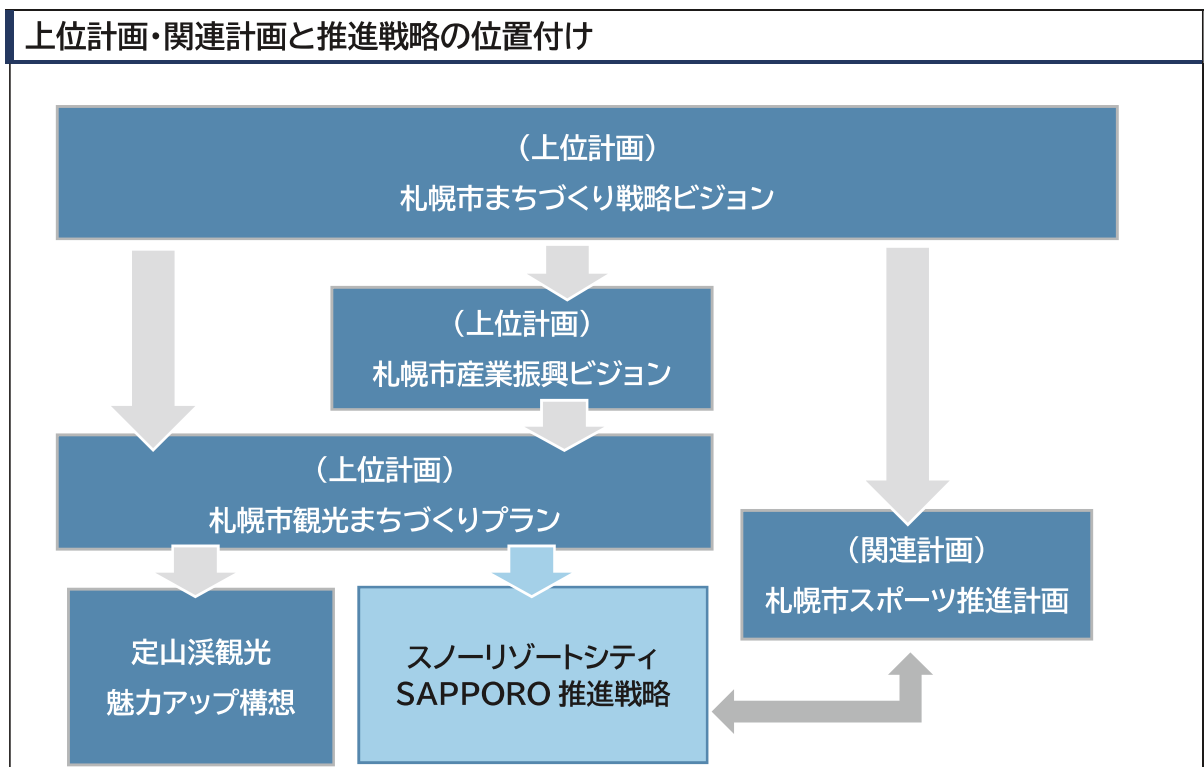
また、推進戦略に基づく取組により、冬の札幌の魅力が高まり、スノーリゾートとしての世界的な認知度が向上することで、「市民自らが誇れる街」としてのシビックプライド²が生まれ、市民のウィンタースポーツ振興や冬季オリンピック・パラリンピック招致の機運醸成にも寄与することを目指します。

3. 推進戦略の位置付け

推進戦略は、札幌市の最上位計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」及び経済・観光分野の上位計画である「札幌市産業振興ビジョン」、「札幌市観光まちづくりプラン」の個別計画に位置付けられます。

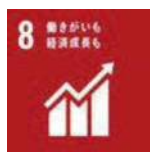
なお、推進戦略は、観光客を主な対象とした計画となりますが、札幌がスノーリゾートとして発展するためには、市民に対するウィンタースポーツ振興も重要な観点となることから、「札幌市スポーツ推進計画」の関連計画としても位置付け、連携を図りながら取組を進めていきます。

また、国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)との関連について、推進戦略に基づく取組は、SDGsを構成する17の目標のうち、主に「目標8 働きがいも経済成長も」、「目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11 住み続けられるまちづくり」、「目標12 つくる責任つかう責任」、「目標15 陸の豊かさを守ろう」を考慮して進めていきます。



² 【シビックプライド】市民が都市を構成する一員であると自覚し、誇りや愛着をもって、都市をより良くしようとする当事者意識。

SDGsとの関連(推進戦略で主に考慮する目標)



働きがいも
経済成長も



産業と技術革新の
基盤をつくろう



住み続けられる
まちづくり



つくる責任
つかう責任



陸の豊かさも
守ろう

4. 全体構成

推進戦略では、スノーリゾートを取り巻く状況や、スノーリゾート推進に向けた札幌の現状を分析・整理したうえで、札幌が目指すスノーリゾートの将来ビジョンや誘客の方向性を定め、その実現に向けた具体的な取組、推進体制等を記載しています。

推進戦略の全体構成

第1章 スノーリゾートシティ SAPPORO 推進戦略の策定に当たって
策定の背景、目的、計画の位置付け、計画期間

第2章 スノーリゾートを取り巻く状況
スキー市場の現状、スノーリゾート推進の動向等

第3章 スノーリゾート推進に向けた札幌の現状
冬期の札幌観光、市内スキー場等の現状分析

第4章 スノーリゾート推進の方向性

将来ビジョン・ブランドイメージ・広域連携ビジョン

誘客の方向性(誘客ターゲット・誘客戦略)

市内スキー場の将来像

第5章 具体的な取組

取組テーマ

基本方針

重点取組

第6章 推進体制と進行管理

推進体制(役割分担、目指す推進体制)、進行管理(進捗管理、ロードマップ、成果指標)

5. 計画期間

推進戦略は、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間を計画期間とします。